



いたびつ **板櫃** <校訓>
真理の探究
自主躍進

令和6年4月15日(月)発行
校長 栗原博巳
北九州市小倉北区白萩町8番1号
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>
自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～
<目指す生徒像>
①「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

令和6年度 板櫃中学校 教職員紹介

板櫃中学校での勤務も1年間が過ぎました。先生の地元は小倉南区なのですが、恵まれた環境で数年前から居たかのように「板櫃愛」を感じている先生は、10数年勤務している感覚です。そして、「今、とても幸せです!」



さて、なぜ「幸せ」と思えるのでしょうか。それは、板櫃中で多くの人と出会えたからです。昨年の着任式で出会った先生方、始業式・入学式で会った板櫃中の生徒のみなさん、入学式で来られた来賓の方、参観日に来られた保護者の方、すべてが優しい方です。先生が若い時に師と仰いでいた他校のバドミントン部の先生がいつもこう言っていました。「偶然は必然である」と。

この歳になって分かったのですが、出会う人は出会うべくして、出会っているということです。それは偶然ではなく、必然な出会いなのです。振り返ってみてください。身近で言うと、親・兄弟・親戚・学校の先生・友達・近所の方・習い事の先生・部活のつながり・塾のつながりで出会った人など、元をたどればすべて偶然な方です。でも、この偶然な人に支えられ今の自分があるとしたら、神様が与えてくれた必然ではないかと思えます。

ですので、初めて会った人に対し、「この人とどんな未来が来るのだろう」と思い、会話して互いを知り会えるように心がけています。そうすると、紹介でまた知人が増えてきます。それも必然の出会いです。

先日、先生を訪ねてきた人がいました。その人は先生が田原中時代に教えていた生徒でした。磯部先生から先生が板櫃中にいることを聞き、訪ねてきたのです。中学校時代は、ダブルス、シングルのエースで、県大会に出場する生徒でした。30年前の出会いが今も続いているのです。出会いは思い出を作り、その思い出が自分自身を強くする—偶然ではなく必然—今までの教え子に生かされている先生がいます。そして、今、この瞬間、板櫃中の生徒に生かされている先生がいます。

人の出会いとは不思議なものです。人はよくそれを偶然の重なりだと言いますが、先生は全ての人々との出会いが必然だと信じています。多くの人と出逢い、その多くの人に自分は支えられながら生きているのですから、今生きている以上、全ての人に逢うべきして必然的に出逢い、支えられていると思うのです。この板櫃での生活で、いったい何人の人と新たに出会うのでしょうか・・・

その全ての人との出会いと思い出、支えられてきたことに、決して言葉で言い尽くすことのできない感謝の気持ちが、今、先生の心の中にあふれています。

先生は、この出会いを生かし、「板櫃中をもっといい学校にしなければ」と決意を新たにしています。今年度がスタートしました。改めて、板櫃中プライドを大切に頑張っていきましょう!

<全体にかかわる教職員の紹介です>

校長	新採指導
教頭	学校事務
教務主任	事務補助
生徒指導主事	スクールカウンセラー
生徒支援加配	学校図書館職員
進路指導主事	スクールサポートスタッフ
学校支援	校務員
養護教諭・保健主事	ALT

<各学年の所属職員の紹介です!>

1年所属職員			2年所属職員			3年所属職員		
学年主任			学年主任			学年主任		
1組担任			1組担任			1組担任		
2組担任			2組担任			2組担任		
3組担任			3組担任			3組担任		
4組担任			4組担任			4組担任		
5組担任			7組担任			5組担任		
7組担任			1組副任			7組担任		
9組担任			1・4組副任			1・7組副任		
1・7組副任			2・3・7組副任			2・3組副任		
2・3組副任			2年所属			4・5組副任		
4・5・9組副任			*	*	*	3年所属		
1年所属			*	*	*	*	*	*
1年所属			*	*	*	*	*	*



◎板櫃中学校玄関のウエルカムボードの4月は『縁』です。時間があるときに見てください。